

㊦ 最終報告書

国際交流センター長殿

2020年 4月 24日

O I U学籍番号	W17034	氏 名	関愛華
国 名	タイ	留学先	ナレースワン大学

留 学 期 間	2019年 11月 21日 ~ 2020年 3月 22日
---------	------------------------------

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

受講科目	受講期間	週当たり授業時間	取得単位数
Thai 2	19. 11/25-20. 3/27	240分	3
Import and Exoprt Management	19. 11/25-20. 3/27	240分	3
Cross-Cultral Communication and Management	19. 11/25-20. 3/27	240分	3
Approaches to Entering New Overseas Markets	19. 11/25-20. 3/27	240分	3
ASEAN and International Trading Blocs	19. 11/25-20. 3/27	240分	3
Principles of Marketing	19. 11/25-20. 3/27	240分	3

履修・教務、学習面について

履修について、ナレスワン大学の学生は学年毎に時間割が決まっており、選択科目以外は、皆同じ授業を受けることが基本となっています。ですが、留学生であるため、授業の履修は、自由でした。観光やビジネスといったコースを決め、そのコースの中から、授業を決めました。基本的に授業時間が被っていないければ、履修できます。授業が決まれば、スタッフの方に、履修確認してもらい、最終決定です。一つ、障害となるのが、自由に組んだ場合、対象の学年がそれぞれ違うため、仲良くなった友人と違う動きになることがあります。ですが、学年を超えて、友人ができるという良い面もあるのでナレスワン大学の方と相談して、決めると良いと思います。

授業は、完全に英語です。ネイティブではないため、最初は、聞き取ること、聞き取ってもらうことに苦労しました。しかしやがて、慣れてきてスムーズに会話することが出来るようになります。グループワークやディスカッションが多いことも、この留学で、経験出来ることの一つです。現地の学生は、ほとんどがタイ人なので、グループワークでは、タイ語で会話が進むこともあります。最初はめげてしまうこともあるかもしれませんが、積極的に質問をすると答えてくれます。コミュニケーション能力も身につく、良い機会です。

定期テストにおける、真剣さは、OIUと違うなど感じました。試験前は、友人同士で、勉強会を開いたり、図書館で勉強する学生が多く見受けられました。普段は空いている図書館の講義室もどこも満室で、勉強に対する姿勢は、ぜひ、現地で体感してほしいと思います。

生活面について

勉強もとても大切ですが、現地で友人と出かけたり、ご飯を食べるなどの生活が留学の一番の醍醐味だと思います。

慣れない地へ一人で行き、頼れる人が誰もいないところからのスタートは不安も大きかったです。ですが、今までの目標であった留学のスタートでもあり、やり遂げる、という思いでこの留学を完遂しました。この大学には、バディ制度があり、この制度はすごく助かりました。空港まで、職員の方と、二人の現地の学生が迎えてくれます。知り合いがいない中で、すぐに連絡できる、かつ、同じ年頃の方のサポートは心強かったです。生活用品を買いに行ったり、食事を共にして、タイでの生活に慣れるきっかけとなりました。クラスでも、知っている人がいることで、安心することができました。タイでは、日本に興味を持ってきている学生も多くいて、私にも興味を持ってくれました。日本のアニメや文化が話のきっかけになることも多かったです。アニメは少し勉強しておくとも良いかもしれません。また、日本の文化を外から見るという体験も印象に残っています。日本にいる時には感じなかった、日本らしさ、文化を海外に身を置くことで感じることができました。皆、とても優しく、困ったことがあれば、一緒に解決してくれようとしています。微笑みの国と言われるタイの文化を感じ、その優しさに何度も助けられました。帰国して思うことは、いつか必ず、お返しをしたいということです。日本らしいおもてなしで、タイ出身の友人たちの心を掴めるようなイベントを考えたいです。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	35	万円	
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	16	万円	
	海外旅行傷害保険	約	8.2	万円	
	査証（ビザ）取得費用	約	1	万円	
	日用品	約	3	万円/月 × 4	ヶ月
	食費	約	1	万円/月 × 4	ヶ月
	寮費	約	0	万円/月 × 0	ヶ月
	水・光熱費	約	0	万円/月 × 0	ヶ月
	インターネット	約	0	万円/月 × 0	ヶ月
	利用方法 学内で利用・寮で利用・インターネットカフェ 複数回答可。○をつけること。				
	その他（用途： ） 万円/月 × ヶ月				
その他（用途： ） 万円/月 × ヶ月					
（医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば）					

滞在中の経費について

滞在中の経費については、基本的に、海外でも使用可能なクレジットカードを利用していました。そこから、海外キャッシングとして、貯金してある口座から、毎月の金額を引き出していました。寮を出るとすぐに、3、4社ほどATMがあるためそこから、引き出していましたが、手数料は毎回220パーツ（日本円=730円）ほどでした。いくつか、資金を得るための方法があるので、事前にどの方法が合っているか検討しておくが良いと思います。事前に25万円ほど貯金していました。また、学校からIEP生対象の奨学金として30万円を頂いた分を含め、合計で、55万円ほどを用意していました。生活費は、日本よりも物価が安いので、これでも十分に生活できると思います。旅行や、買い物をしたい場合は、もう少し、多めに見積もっても良いと思います。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

確認しておくべきことは、ビザの取得と授業についてです。ビザは、大阪領事館へ、自身で取得する必要があります。書類一覧から、準備し、早めに取得してください。国際交流センターの方も、サポートしてくれます。授業に関しては、どのような科目を受講するか、ある程度決めておき、それに関する科目を、留学前の前期で履修していました。また、授業以外にも関連した書籍を読むなどして、知識を増やしていました。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

留学生活に慣れてくると、リフレッシュのため、夕食を友人と共に食べたり、時には、友人宅で一緒に作るなどしました。休日には、少し遠出するなどして、距離を縮め、思い出を作りました。ひとりの時間も大切にしつつ、思いっきり楽しむ時間も意識的に作ることで、メリハリをつけ、勉強に集中しました。留学中は、全てが自分のために使える時間なので、事前に立てた目標や、なりたい自分を意識して、自分のしたいことができると思います。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

移動手段が、ないため学外へ買い物をしたい時は、困りました。学校へ通う時は、シャトルバスで移動します。基本的な日用品も寮の近くで買えますが、買い物をしたいときは、学外を出ないといけません。徒歩の場合、門を出るまで30分ほどかかります。ほとんどは、友人に頼み、バイクの後ろに乗せてもらい、目的地に行くことが多かったです。タイの学生は皆、とても優しく、いつも気さくに応じてくれました。困ったことがあれば、遠慮せずに、聞いてみるのが大事です。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

留学することでしかできない体験をたくさんしてきました。目標を高く持ち、まずは行きたい留学先への条件をクリアしてください。いろいろな面で、不安があると思いますが、国際交流センターの方や、セミナーの先生、先輩方がサポートしてくれます。この大学生活でしかできない体験をしてほしいです。